

(別紙2-3)

事業所名: グループホームあさひが森

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 12 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	マニュアルを整備しているが、職員の理解不足があった。	虐待・拘束について、職員の理解を深める。	虐待・拘束委員会でマニュアルの読み合わせを実施してみる。	12ヶ月
2	33	看取りについて、職員の共通理解が不足しているのではないか、職員によっては、経験不足もある。	看取りについての理解・経験を深める。	利用者さんそれぞれの終末期の違いはあるが、研修等を通して職員一人一人の理解を高める。	12ヶ月
3	35	①災害時の備蓄品の不備・不足②避難時の持ち出し品の認識不足	災害時の対応・理解を日常的に。	①災害時の備蓄の賞味期限他の記載を担当職員に依頼する。②避難時の持ち出し品のリスト化。リュックの用意。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。